

自己評価 令和2年度末（2020年度末）報告

1. 園の教育目標

本園が最も大切にしているのは、キリスト教の精神に基づいた心の教育、即ち 真 善 美 を尊び愛するという事です。幼児期が生涯にわたる人間形成の基礎を培う時期であることを認識の上に、子どもの心に内面的な温かさ、正しさ、美しさを植えつける教育に力をつくしたいと考えています。

幼児が現代の社会生活に適応し、幸せに生きる能力の基礎を身につけるに留まらず、将来隣人と共に生きる国際社会の形式に寄与する人間としての姿勢をも身につけ、環境を通して教育することに努めます。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・ 新型コロナウイルス感染防止の為の対策を徹底し、保護者の方が安心して子どもを預けて下さる環境を作る
《感染防止対策》
3密（密集・密閉・密接）の回避 ・ 健康観察カード・手洗い嗽の習慣
手指消毒（ハンドジェル）・マスクの着用
《環境整備》
机・イスの配置、手洗いの列の間隔に印を付ける、移動タオル掛け、換気と空気清浄、
園庭の遊具消毒、保育室共有で触れる所の消毒
- ・ 感染症対策を重点に置き行事を考える
園児が保育中に準備や練習が必要な場合は、それにかかる時間や期間を考慮し、また室内・室外空間における人数設定・時間設定・入替えの際の消毒と換気等に留意する。
- ・ 園児の事を中心に考え、楽しくて喜びのある行事を考える。
- ・ 防災対策の強化に努める。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組状況
教職員の教育の質の向上 年間計画 行事への新しい取り組み	<ul style="list-style-type: none">・ 集団での研修を行うことが出来なかった為、オンラインで様々な分野から講習を受け、保育の質の向上に努めた。・ 年間行事計画表を事前に配布することが出来なかったが、定期的な会議を行い、その状況に応じて行事の計画を進めるとともに、決まり次第、保護者に伝えた。・ 園全体で行う行事は、密を避けることが困難な為、中止にしたり、形式を変える等の工夫をした。 また子どもが発表する行事は、学年毎や人数を少なくする為にグループ分けをして実施した。 発表の際には飛沫感染を防ぐ為、マウスシールドを付けた。 保護者の人数制限・検温・手指消毒・換気なども徹底した。

<p>園児の生活習慣と健康 体力向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭で健康チェックを記録する用紙を配布し、登園時にはその健康観察カードを提出してもらう事で、園児の健康状態を把握した。 新型コロナウイルスだけではなく、他の感染症が流行することもなく、元気に園生活を送ることが出来た。 ・朝の体操や縄跳び体操、マラソン等を毎日行い、体力向上に努めた。 ・外遊びは密を避ける為、学年毎に時間を分けて行った。 夏場は暑く熱中症の危険もある為、マスクを外し、1クラスずつ遊ぶようにした。芝生や裏の運動場も有効活用した。
<p>子育て支援 ・満3歳児 ・未就園児 預かり保育 など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度より満3歳児の定員を30名とし、前期18名・後期12名が入園した。 ・未就園児の活動は7月末から始めた。密を避ける為、各日程10名の人数制限・親子の健康観察カードの提出・検温・手指消毒・マスク着用など感染防止対策のご協力をお願いした。 実施曜日が定員いっぱいとなった時は追加で実施日を増やした。 ・預かり保育は、異年齢の園児が集まる為、始める前は検温・手指消毒・健康観察カードのチェックを行った。 人数が多いときは保育室を分けたり、共有する教材の消毒を徹底して行った。
<p>情報提供と 保護者のニーズの把握 など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言中、大阪府が公表する緊急事態措置において、休業要請対象以外の仕事に従事している方で就労の継続が必要な方等、登園申請を提出して頂き、預かり保育を利用できるようにした。 ・臨時休園中も、子どもに向けた手紙や、家庭で遊べる物を郵送したり、担任が電話で子どもたちの健康状態やご家庭の様子を保護者の方に尋ねた。 また保護者に向けた新型コロナウイルス対応・臨時号のお手紙をその都度メールし、ご理解やご協力をお願いした。 ・臨時休園中、少しでも幼稚園に来て遊んだり、先生の姿を見て安心できるよう、在園児の為の園庭開放を行った。 その際も、感染対策を徹底したり、学年別・クラスをグループ分けし人数制限を行った。 ・コロナウイルス感染者の数が日々変化し、状況が変わる中、行事等の予定変更について、手紙や緊急メールにてその都度知らせたり、意見に応じて対応した。 ・臨時休園や分散登園があり、保育日数が少なくなった為、7月・8月に全日保育を増やしたり、自由登園の土曜保育を実施した。

<p>給食提供の充実 食育 など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・給食のアレルギー食に関しては、事務所と担任の2重点検を行い、誤食のないように努めた。更にアレルギー食の給食容器の色を変更する等、検討したい。 ・園閉鎖や分散登園で保育日数が少なくなった分、保育日を増やし給食の提供を行った。 ・年長児はプチトマトの栽培を体験し、生長の過程を観察したり、食べ物の大切さを知り、食育に繋がった。 ・食事中は、飛沫防止の為、前を向いて食べる・私語は慎む等、子どもたちに分かりやすく意識できるようにした。食後も、口を拭いて新しいマスクに付け替える等、衛生面においても配慮した。
<p>地域交流 外部講師 など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染予防として、勤労感謝の花束贈呈の訪問を避け、花束とカードを送り、感謝の気持ちを伝えた。 ・泉佐野市役所の方が、ゆるナキンと共に来られ、新型コロナウイルス感染予防対策の話をして頂いた。 ・防火訓練の際、消防点検の方に来て頂き、防火にまつわる話や、職員への消火器の使い方を指導して頂いた。
<p>教材、衛生など備品 修理 交換 など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが着席し、落ち着いて遊べるように机を増やし、塗り絵などの教材を用意した。 ・保育室に新しい空気清浄機を用意した。 ・修理が必要な箇所をリストアップしたり、欠損箇所はその都度報告し修繕を行った。 ・運動場・園舎側の緑マットの交換を行った。 ・園内空調設備老朽化に伴う入替工事を実施予定であり、工事が平日の為、保護者の方には早急にお知らせした。
<p>衛生 新型コロナウイルス対策 など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国の緊急事態宣言が解除された場合でも、泉佐野市より1号認定児については臨時休園を継続するように要請文が届いた為、5月31日まで臨時休園とした。 ・始業式はクラスを2つに分け午前・午後で行った。その後は、クラスを2つに分け、隔日で分散登園を行った。 ・入園式は、新型コロナウイルス感染拡大予防の為、時間短縮・参加人数の制限・人と人の間隔を保つ・健康観察カードの提出、マスクの着用、手指消毒をお願いした。 ・家庭用健康観察カードを用意し、子どもの健康観察を、家庭でも行えるようにした。 ・通園バス2台の抗菌コート施工・オゾン脱臭機を設置し、コースごとに除菌・換気を行うとともに、座席は間隔をあけて座る、降車時の手指消毒を徹底した。 ・毎朝の健康観察カードの提出、マスクの着用・交換、手洗い、うがい、手指消毒を徹底した。

	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスは風邪症状と見分けがつきにくい為、平熱との差が+0.6℃以上・風邪症状が1つでもある・解熱後24時間経過していない・同居家族に発熱症状がある場合はお休みをしてもらっていたが、医師の診断を受け、登園許可証の提出があれば登園できるようにした。 ・手洗いの際には、個人のお手拭きタオルを使用しやすいように、また他の園児の物と接触を避ける為、タオル掛けを用意した。 ・1日使用したエプロンや体操ズボン、赤白帽子等は、毎日持ち帰るようにした。 ・遊具やおもちゃ、保育室の除菌や掃除を徹底して行った。
<p>安全対策</p> <p>遊具</p> <p>防犯対策</p> <p>防災</p> <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝、遊具は除菌するとともに、安全点検を行った。 ・防犯対策として、刺股・ネットランチャーを購入し訓練を行った。 ・個人のロッカーに防災頭巾を置くことで、自分の物を素早く被って避難することができた。 ・定期的に防災・防火・防犯訓練を行い、その都度課題については園全体で報告・検討・話し合いを行った。子どもたちには抜き打ちで訓練を行うことで、保育者の声掛けに素早く反応して行動することができた。 ・10月から上靴を履くようになったことで、災害時、安全に避難することが出来るようになった。上靴の棚を保育室に設置した。 ・安全対策として、事務所前の門の工事を検討中である。

4. 総合的な評価

新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、国・大阪府・泉佐野市の方針に従って、臨時休園・分散登園・登園自粛などを保護者をお願いした。人数・場所・時間を縮小し行事を計画したが、状況に応じて延期、また実施出来ない行事もあった。多くの変化と制限の中で我慢する事の多い1年だったが、園児たちは新しい生活様式に順応し園生活を楽しんでくれた。保護者の方々にとっても同様、例年とは違う行事等園の取組みを理解して下さった事に大変感謝している。次年度も衛生面に十分配慮しながら、職員全員が保育の改善・充実に向けて検討し、行事も工夫して行う。

5. 2021年 取り組むべき課題

- ・新型コロナウイルス感染防止として、感染対策の衛生面は引き続き徹底し、子どもたちを第一に考えた園生活を行う
- ・防犯、防災対策の強化
- ・おもちゃ等、安全・安心に遊べる物の充実
- ・空調設備入替工事（4/28～5/5）
- ・遊具の下に敷いている安全マットの交換
- ・異年齢との関りを深める取り組み
- ・事務所前の門工事（未定）

6. 園関係者の評価

コロナ禍での、緊急事態宣言中の臨時休園・解除後の分散登園・短縮保育などの期間、先生方は子どもたちに寄り添った対応をして下さった。上靴の導入・机を一定方向に向ける・少人数で机を使う等、園での生活環境を整え、共有で使うおもちゃではなく接触を避けるような遊びを工夫して用意して下さいました。また、感染対策をしつつ、出来る範囲で行事を行って下さった。